



駐日ポーランド共和国大使館



ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO



2021 年 2 月 19 日

駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター

ニュースリリース

教皇ヨハネ・パウロ二世日本巡礼 40 周年



©女子パウロ会

1981 年 2 月 23-26 日に教皇ヨハネ・パウロ二世は、ローマ教皇として歴史上初めて、日本を訪問されました。

訪問の主要な日程は、次の通りでした——聖職者・信徒との集い、ゼノン・ジェブロフスキ修道士（「ゼノさん」）訪問（2 月 23 日）、天皇陛下謁見、鈴木善幸首相との会見、東京・武道館での「ヤング・アンド・ポープ大集会」（2 月 24 日）、東京・上智大学訪問、広島での「平和アピール」発表（2 月 25 日）、福者マキシミリアン・コルベ神父が長崎に創立した[聖母の騎士修道院](#)訪問（2 月 26 日）。

教皇ヨハネ・パウロ二世は、1930 年に聖マキシミリアン・M・コルベ神父とともに来日し、当時すでにご高齢だったゼノ修道士との面談で、車椅子に座った修道士の前に身を屈めて、こう言われました——「私は教皇です、ポーランド出身の教皇です」ポーランド人教

皇との面談に感極まったゼノ修道士は号泣して、「教皇、教皇」と繰り返すのみで、それ以上何も言うことができませんでした。

教皇は日本滞在中に幾度かミサを司り、日本語で 13 回、説教とスピーチを述べられました。

訪問は今も日本人の記憶に残り、2019 年 11 月の教皇フランシスコ日本巡礼の折にも、その思い出が語られました。

ポーランド人教皇の記憶を大切にすべく、2015 年に駐日ポーランド共和国大使館は、「ポーランドの偉人」シリーズの一冊として、聖ヨハネ・パウロ 2 世についてのコミックを出版し、日本訪問 35 周年にあたる 2016 年にポーランド広報文化センターと駐日ポーランド共和国大使館は、上智大学と共催で、シンポジウム「ヨハネ・パウロ二世の平和アピールと現代世界」を催しました。

ポーランド広報文化センターは、2020 年に、聖ヨハネ・パウロ二世生誕百周年を機にヨハネ・パウロ二世思想センター（ワルシャワ）が制作したパネル展示「ヨハネ・パウロ二世の生涯——生誕百周年記念」の日本語版を作りましたが、その目的は、歴史の流れに影響を及ぼしたヨハネ・パウロ二世という人物を思い起し、その出自、生涯・人物・思想の豊かさを提示することです。展示（パネル 10 枚）は私たちを、ポーランド人教皇の生涯の節目となる瞬間をめぐる旅へと招待します。

上記パネルは、2 月 20 日から 3 月 1 日までの期間、カトリック調布教会（<http://chofu-church.ciao.jp/access/>）にて、マリアン・ハワサ氏の写真「ルブリン・カトリック大学におけるカロール・ヴォイティワ大司教」とともに、展示されます。

調布教会信徒会館では、2 月 21 日に、10 時 30 分に始まる日本人のためのミサ終了後と、16 時始まる日本在住ポーランド人のためのミサ終了後、ポーランド人教皇の日本訪問を記録した千葉茂樹監督の映画『平和の巡礼者——ヨハネ・パウロ II 世』（日本語オリジナル版）が上映されます。

新型コロナウイルス蔓延により、展示と映画上映は、適切な感染防止対策を講じたうえで行われます。

上記展示は、後日、東京カテドラル聖マリア大聖堂で観ることができます。新型コロナウイルス蔓延に伴い、期日は、駐日ポーランド共和国大使館とポーランド広報文化センターのウェブページに発表されます。

パネル展示「生誕 100 周年記念——ヨハネ・パウロ二世の生涯」のポーランド語版は、Google Arts & Culture の <https://artsandculture.google.com/exhibit/KQICToaicSVbKg?hl=pl> で、日本語版はポーランド広報文化センターのウェブページ <https://instytutpolski.pl/tokyo/wystawa-cmjp2/> で観ることができます。

文責：ポーランド広報文化センター

駐日ポーランド共和国大使館

<https://www.gov.pl/web/nippon>

tokio.amb.sekretariat@msz.gov.pl

Twitter: @PLinTokyo

Facebook: <https://www.facebook.com/Ambasada-RP-w-Tokio>

ポーランド広報文化センター

<https://instytutpolski.pl/tokyo/>

tokio@instytutpolski.pl

Twitter: @PLInst_Tokyo

Facebook: <https://www.facebook.com/InstytutPolskiTokio/>